

F I J 月次活動レポート（2020年4月）

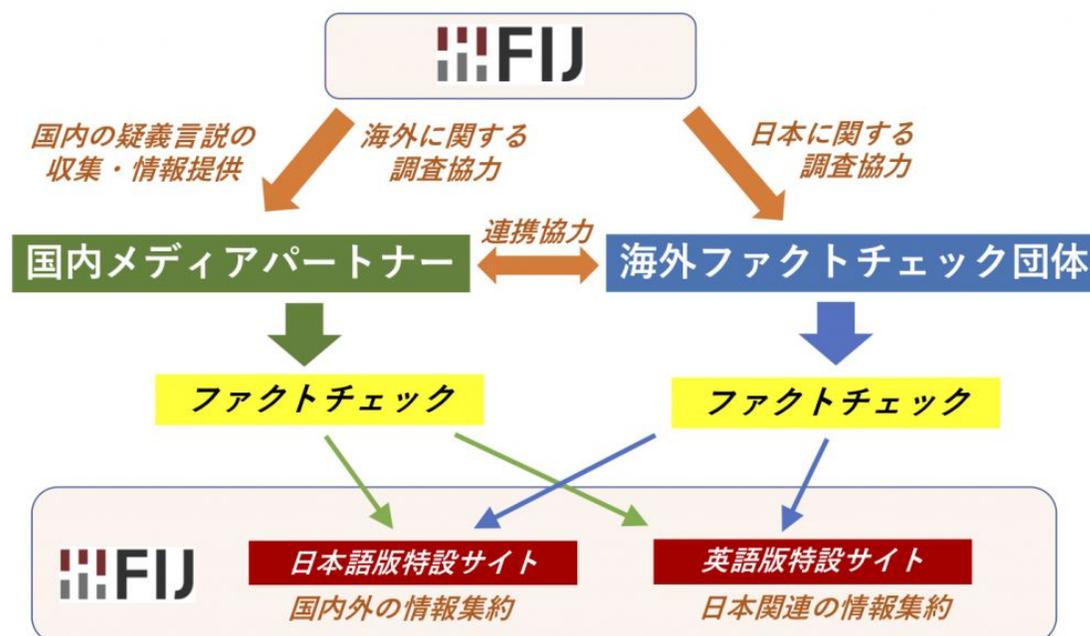
ファクトチェック・イニシアティブ（F I J）の活動にご注目・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。4月の活動内容をご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、F I Jは2月初旬に「[新型コロナウイルス特設サイト](#)」を開設し、国内外の団体が実施した新型コロナ関連情報のファクトチェック結果を集約しています。3月より国際協力プロジェクトも始動しました。

（1）新型コロナウイルス特設サイトの配信

特設サイトは、国内外のメディア、団体が実施したファクトチェックの結果を紹介していますが、最新の更新情報を通知してほしいという要望に応えるため、更新ニュースのメール配信（1日1回）を会員、寄付者、メディアパートナー等のご希望者に向けてスタートしました。

4月25日には、F I Jの英語版サイトをリニューアルし、日本に関連する新型コロナのファクトチェック情報を海外に発信する特設サイトとしてオープンしました。



（2）国際協力プロジェクトの成果

F I Jでは国内外の団体・メディアのファクトチェック調査に協力するため、英語リサーチャーなど25名以上から成るプロジェクトチームを編成しました。

4月は、モニタリングにより287件の疑義言説に関する情報を国内メディアパートナーに提供。①日本の専門家が「若い人も死亡しやすい」と警鐘したとの香港メディアの報道、②「緊急事態宣言で知事にロックダウンの権限が付与された」

との米国メディアの報道、③「ノーベル賞受賞者の本庶教授がウイルス人造説に言及した」とするインドのネット情報など、数多くの案件を調査しました。③はF I Jの調査協力によりインドの団体がファクトチェック記事を発表し、日本の主要メディアも相次いで報じるなど大きな反響が出ました。



こうした活動が皆様のご支援により実現しております。
あらためまして厚く御礼申し上げます。

今後ともご注目・ご支援のほど、何卒お願い申し上げます。